

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	福祉課 管理理係：【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 64-6500】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 3節 <input type="checkbox"/> 4項 (2) 高齢者福祉施設の充実

業務の名称	福祉の家管理・修繕業務		
(1) 根拠法令・条例	長久手町福祉の家条例		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の50% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：350人・日 (臨時雇用者延人数：100人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	107,074千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	_____ % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了 (予定) 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	町民の福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。
②業務が対象とする住 民 (地域、層)	町民
③業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理業務委託 ・ 植栽管理委託 ・ 除草等作業委託 外

④業務の実施結果 (平成20年度実績)	【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	歩行浴室利用人数 (人)	9,692	11,788	12,166	12,081	12,200
	2	福祉浴室 (人)	4,719	5,589	5,624	6,586	6,600
	3	温泉スタンド (回)	3,618	3,118	2,615	2,269	2,300
	4						
	5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡潔に箇条書きで記載)

経年による施設の老朽化

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
維持修繕工事	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.7点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) ④ 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	施設の老朽化はに伴い)設備等の修繕工事は毎年増加傾向となるので、中・長期計画の検討を視野に入れることが必要と考える。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	コージェネ(熱電併給)使用方法の検討
②改善時期	平成22年度
③改善方法	高熱水費の使用内容を検討する